

平成30年度 国際先端科学技術研究機構 (IROAST) セミナー・共同研究支援 公募要領

以下の項目を確認いただいた上で、**開催予定の1か月前までに**応募書類等のご提出をお願い致します。ご不明な点はIROAST事務局までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先: IROAST事務局 (自然科学系事務課国際先端科学技術研究機構担当)

Email: szk-kiko*jimu.kumamoto-u.ac.jp

[迷惑メール防止のため*を@に置き換えてご使用願います。]

1. 制度趣旨	<p>本学の自然科学分野の国際的研究力強化のため、世界トップクラスの研究者(年齢を不問)との国際的ネットワーク構築に資するセミナー及びそれに伴う共同研究を支援する。</p> <p>本制度によって、ひいては連携協定の締結等による交流の深化、国際共同研究計画の具体化、若手研究者の養成・活性化等へ繋がることを期待する。</p>
2. 応募要件	<ul style="list-style-type: none">• <u>IROAST セミナーを必ず開催すること。</u> *補足事項 : セミナー実施に付随する IROAST の4重点領域に関する国際共同研究のための滞在であれば、<u>セミナーと合わせて最大一週間まで滞在費の支給が可能。</u>ただし、共同研究、その他の研究打ち合わせ及び学術集会等のためのみの招へい旅費は支給しない。• 開催責任者が、本学専任教員(特任教員等を含む)であること。2名のうち1名は、自然科学系[※]の教員とする。あるいは自然科学系の教員1名でも差し支えない。• 開催研究テーマが、IROASTの重点領域^{※2}のいずれかに該当していること。
3. 対象	本学の教員・大学院生・学部生の可能な限り多数の参加が見込めるもの。
4. 開催日	平日開催とする。
5. 開催言語	英語
6. 開催場所	原則として、開催場所は本学内とする。
7. 募集期間	随時募集 ただし、年度予算の上限に達した場合は募集を締め切る。
8. 申請	以下の必要書類を 開催予定の1か月前までに IROAST事務局にメールで提出する。 ① IROASTセミナー申込書 ② 講演者の略歴(写真付きの全員分) ③ その他参考となる資料
9. 審査/採否	研究機構長と副研究機構長において審査決定し、IROAST事務局より、採択の可否を申請者に通知する。 [審査の観点]

	<ul style="list-style-type: none"> • <u>制度趣旨に合致しているか</u> • <u>世界トップクラスの研究者であるか</u> • <u>本学の自然科学系分野における国際的な研究活動を活性化するものか</u> • <u>応募要件を満たしているか</u> • その他、IROASTの活動目的に合致するか
10. 採択後	<p>開催責任者は、採択通知を受領後、旅費申請を希望する講演者について、<u>航空券領収書、<旅費・謝金>債主・プロフィール登録用フォーマット(学外者)</u>、必要に応じ、<u>海外送金表、航空券半券、日程表</u>をIROAST事務局へ提出すること。 ※プロフィール登録済で内容に変更のない者は提出不要。</p>
11. 準備/広報	<p>開催予定の3週間までにプログラム、ポスター※をIROAST事務局へ提供すること。会場(教室)予約、機器等の準備については、原則開催責任者が行い、IROAST事務局が協力支援する。 ※すでにポスターがある場合のみ。IROAST事務局による作成を希望する場合はその旨を連絡すること。</p>
12. 開催責任者の責務	<p>開催責任者は、申請に際し、次の責務を負うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 企画全体の統括、当日の運営とそれに係る準備 • 広報用プログラムのIROAST事務局への提供 • 講演者の旅程に関する連絡調整(チケットの手配を含む) • 講演者の招へい • 報告書の提出(様式2)(セミナー終了後、2週間以内) • IROASTウェブサイト等でのセミナー開催報告の承諾
13. IROAST事務局の支援業務	<ul style="list-style-type: none"> • 広報(ポスター、IROASTウェブサイト及び全学一斉メール) • 経費精算(申請があった場合) <ul style="list-style-type: none"> • その他会場予約等、開催に必要な協力事項(希望に応じて、パソコン、プロジェクターの貸出可能) • 写真撮影
14. セミナー時の注意点	<p>インタラクティブなセミナーを企画すること。(例えば質疑応答の時間を設ける、事前に参加者へ質問票を配付して受け付けた質問に当日回答する、など)</p>
15. 支援経費	<p>卓越教授又は客員教授として別途旅費の支給が予定されている場合を除き、講演者に係る以下の経費について、熊本大学旅費規則に基づき後日支給する</p> <p>① 講演者の交通費</p> <p><u>日本国内から招へいする場合</u> 講演者の最寄り駅から本学までの低廉な往復交通費を支給。</p> <p><u>日本国外から招へいする場合</u> 講演者の最寄りの国際空港と熊本間の低廉な往復航空運賃等を支給。</p> <p>② 講演者の滞在費</p> <p>「国立大学法人熊本大学旅費規則」による日当及び宿泊料(滞在の実態に応じ減額調整することがある。)を支給する。</p>

	<p><経費執行における注意></p> <ul style="list-style-type: none"> 開催責任者は、上記旅費精算手続きのため、熊本大学自然科学系事務課ホームページの「旅費精算手続き>旅費マニュアル(学外者招聘)」に記載のある必要提出物をIROAST事務局へ提出すること。 本学以外の用務等を含む招へい旅費は支給しません。 原則として他の経費との合算使用はできません。ただし、本事業と他の経費による支出の区分が明らかになる場合は、申請書にその旨を記載のうえ、IROAST事務局にて審査することが可能です。
16. 配付資料	配付資料がある場合は、開催責任者が開催日の <u>1週間前</u> (土・日・祝日を除く。)までにIROAST事務局へメール等で提出すること。
17. 写真撮影等	講演者の同意に基づき、講演の様子を写真等に撮影し資料としてWebで公開する。
18. 開催中止の場合の取り扱い	<p>自然災害等によってセミナーの開催中止を判断する必要がある際の基準は、熊本大学における台風等が発生した際の「休講判断」に準じる。開催中止とする場合の経費の取扱いについては下記のとおりとする。</p> <p><交通費の補償></p> <p>開催中止の判断がなされた時点で講演者が負担している交通費</p>

※1 大学院先端科学研究部、パルスパワー科学研究所、くまもと水循環・減災研究教育センター、先進マグネシウム国際研究センター、大学院先導機構(自然科学系)に所属する者

※2 (1) **先進ナノ物質科学領域**

酸化グラフェンナノシート、水素製造触媒、超高压・超重力など極限環境下での未踏新物質開発などを含む幅広い分野

(2) **グリーンエネルギー領域**

地熱資源、水資源など再生可能エネルギー資源の開発とその応用、バイオマス応用などを含む幅広い分野

(3) **気水圏環境科学領域**

気水圏環境を対象とする環境評価と気候変動の解明、地下水や浅海域の保護などを含む幅広い分野

(4) **先進グリーンバイオ領域**

医学、薬学及び農学との融合領域、例えばドラッグデリバリーシステムの開発や環境に優しい農薬開発、X線 CT や IT による医用診断などを含む幅広い分野